

景気動向調査報告書

令和2年6月末時点における景気動向調査を実施しましたが、その概要は次のとおりでしたので報告いたします。

1 調査対象

項目 業種	対象企業数 (社)	回答企業数 (社)	回答率 (%)	前回回答率 (%)
製造業	80	50	62.5	38.8
建設業	40	22	55.0	42.5
小売業	70	40	57.1	38.6
宿泊施設業	40	25	62.5	35.0
合計	230	137	59.6	38.7

※回答状況は、調査対象企業230社の内137社で、回答率は前回と比較すると38.7%から20.9%増加し、59.6%となった。

2 調査方法 B・S・I 方式による。

<B・S・I方式>

景気全般について、「上昇傾向」「下降傾向」の度合いを数字に置き換えて指標化したもの。景気（の先行き）に対する経営者の観測をまとめて指標化したもので、前年同期（又は3ヶ月先を見据えて）に比較し増加（良い）と答えた企業数から減少（悪い）と答えた企業数を差し引き、全体（増加+ほぼ同じ+減少=企業総数）で除して得た数字がB・S・Iとなる。

例：

増加	同じ	減少	B S I
A	B	C	D
30	8	20	17

$$B \cdot S \cdot I (D) = \frac{A - C}{A + B + C}$$

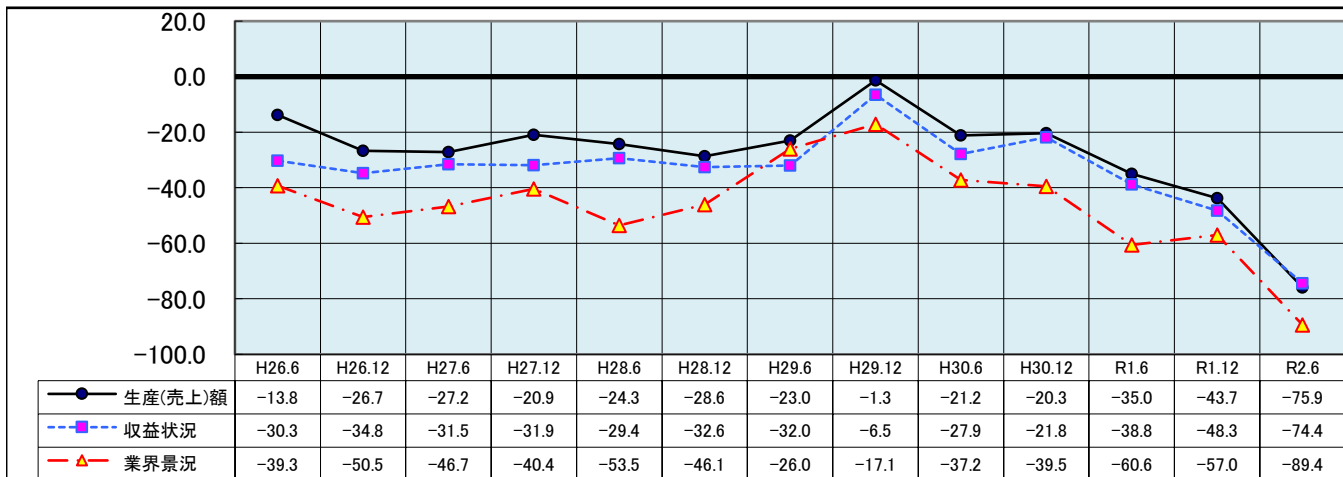
B・S・I	40.1以上	40.0～5.1	5.0～-5.0	-5.0～-40.0	-40.1以下
判断	上昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下降

3 集計の結果、特徴的なことは次の通りであります。

【総合】

< 配布 230企業 回収136企業 回答率 59.1% >

生産・売上額	今回調査	前回調査	前年6月	収益状況	今回調査	前回調査	前年6月	業界景況	今回調査	前回調査	前年6月
	-75.9	-43.7	-35.0		-74.4	-48.3	-38.8		-89.4	-57.0	-60.6
	比較	-32.2	-40.9		比較	-26.1	-35.6		比較	-32.4	-28.8

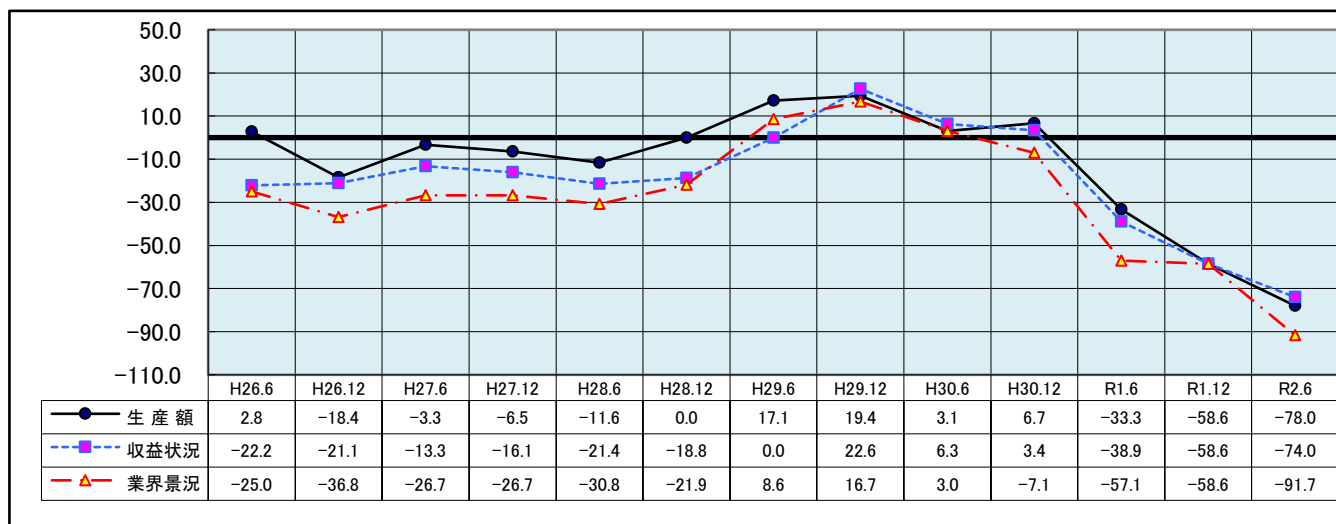


東北管内及び県内の経済情勢は、「新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にある」とされているが、本市の景気動向においては、生産（売上）額、収益状況、業界景況のいずれの項目においても前回及び過去6年間の数値を大幅に下回る結果となっており、感染症による影響は甚大で非常に厳しい状況となっている。

【製造業】

< 配布 80企業 回収 50企業 回答率 62.5% >

生産額	今回調査	前回調査	前年6月	収益状況	今回調査	前回調査	前年6月	業界景況	今回調査	前回調査	前年6月
	-78.0	-58.6	-33.3		-74.0	-58.6	-38.9		-91.7	-58.6	-57.1
	比較	-19.4	-44.7		比較	-15.4	-35.1		比較	-33.1	-34.6



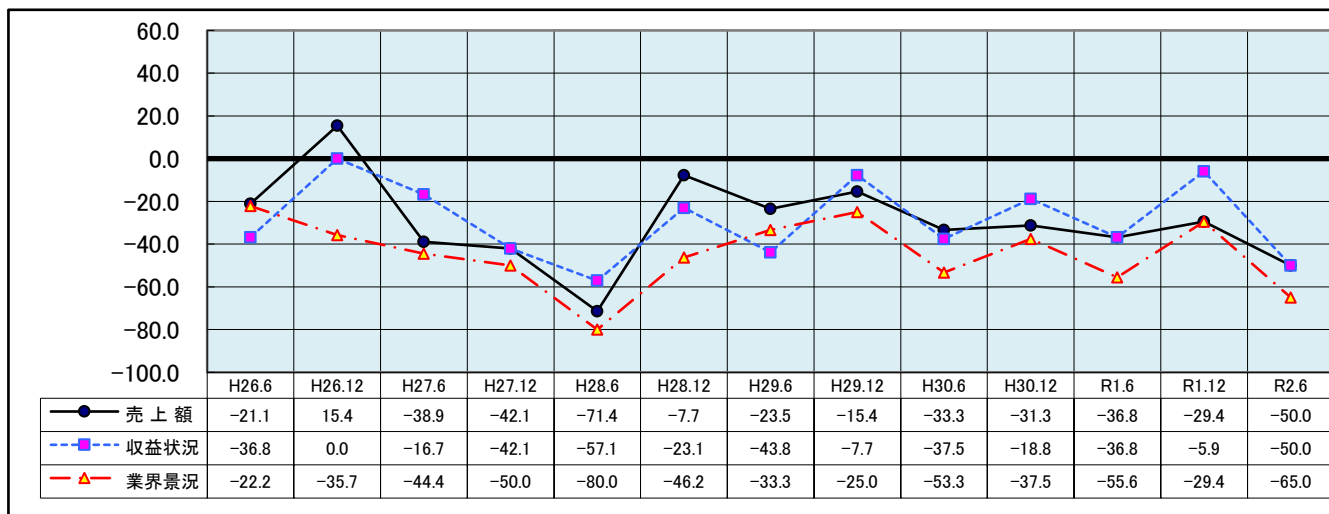
県内の経済情勢では「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きが続いている」とされているが、市内においては生産額・収益状況・業界景況の全てにおいて前回調査を下回る回答となり、厳しい状況となっている。

生産額は増加4社（8.0%）、同じ3社（6.0%）、減少43社（86.0%）、収益状況は良い4社（8.0%）、同じ5社（10.0%）、悪い41社（82.0%）、業界景況は上昇傾向0社、同じ4社（8.0%）、低下傾向44社（88.0%）、未回答2社（4.0%）となっている。

【建設業】

< 配布 40企業 回収 22企業 回答率 55.0% >

売上額	今回調査	前回調査	前年6月	収益状況	今回調査	前回調査	前年6月	業界景況	今回調査	前回調査	前年6月
	-50.0	-29.4	-36.8		-50.0	-5.9	-36.8		-65.0	-29.4	-55.6
	比較	-20.6	-13.2		比較	-44.1	-13.2		比較	-35.6	-9.4

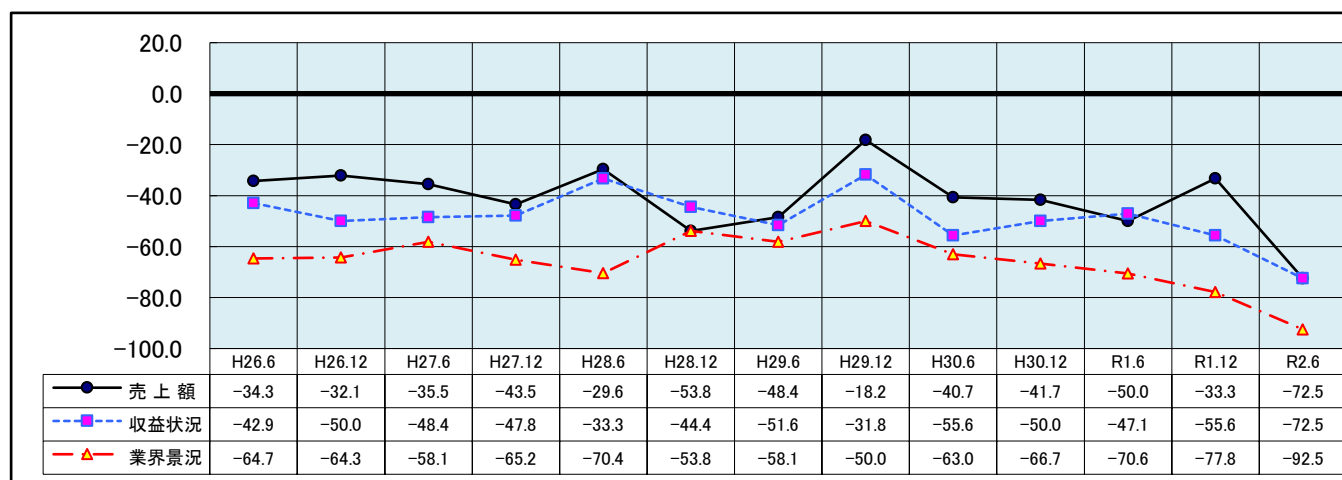


売上額、収益状況、業界景況ともに前回を下回っており、過去6年で平成28年6月調査に次ぐ低水準となっており、厳しい状況にある。売上額は増加2社（9.1%）、同じ6社（27.3%）、減少12社（54.5%）、未回答2社（9.1%）、収益状況は良い2社（9.1%）、同じ6社（27.3%）、悪い12社（54.5%）、未回答2社（9.1%）、業界景況は上昇傾向0社、同じ7社（31.8%）、低下傾向13社（59.1%）、未回答2社（9.1%）となっている。

【小売業】

< 配布 70企業 回収 40企業 回答率 57.1% >

売上額	今回調査	前回調査	前年6月	収益状況	今回調査	前回調査	前年6月	業界景況	今回調査	前回調査	前年6月
	-72.5	-33.3	-50.0		-72.5	-55.6	-47.1		-92.5	-77.8	-70.6
	比較	-39.2	-22.5		比較	-16.9	-25.4		比較	-14.7	-21.9

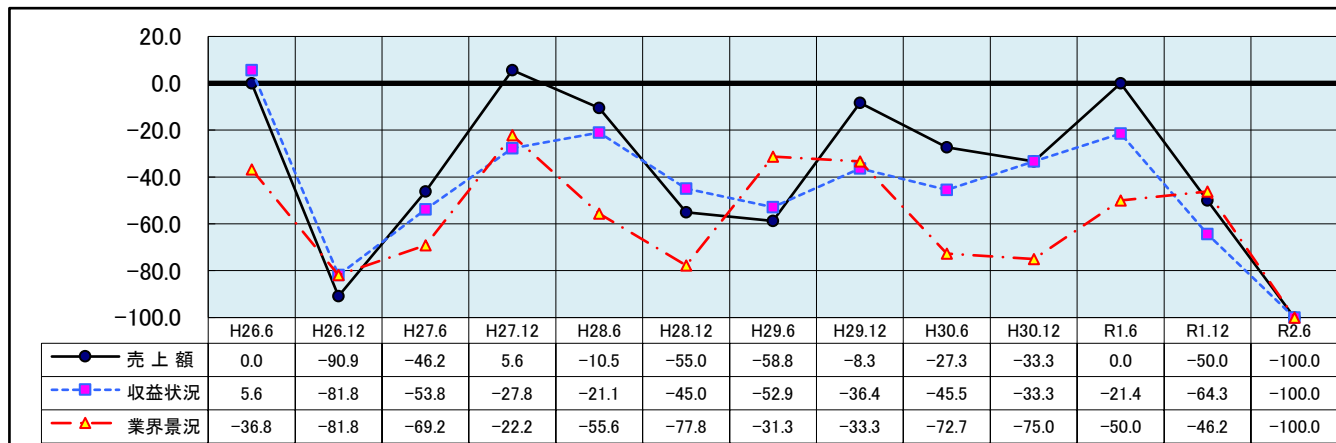


売上額は増加2社（5.0%）、同じ7社（17.5%）、減少31社（77.5%）、収益状況は良い2社（5.0%）、同じ7社（17.5%）、悪い31社（77.5%）、業界景況は上昇傾向0社、同じ3社（7.5%）、低下傾向37社（92.5%）となっている。売上額、収益状況、業界景況の全ての項目が前回調査及び過去6年間の数値を下回っており、県内の個人消費は「持ち直しの動きがみられるものの、感染症の影響により、厳しい状況が続いている」とされているが、市内の小売業は依然厳しい状況が続いている。

【宿泊施設業】

< 配布 40企業 回収 25企業 回答率 62.5% >

売上額	今回調査	前回調査	前年6月	収益状況	今回調査	前回調査	前年6月	業界景況	今回調査	前回調査	前年6月
	-100.0	-50.0	0.0		-100.0	-64.3	-21.4		-100.0	-46.2	-50.0
	比較	-50.0	-100.0		比較	-35.7	-78.6		比較	-53.8	-50.0



売上額は増加0社、同じ0社、減少23社（92.0%）、未回答2件（8.0%）、収益状況は良い0社、同じ0社、悪い23社（92.0%）、未回答2件（8.0%）、業界景況は上昇傾向0社、同じ0社、低下傾向24社（96.0%）、未回答1件（4.0%）となっている。
 売上額、収益状況、業界景況のいずれにおいても未回答を除く全社が減少・悪化の回答をしており、蔵王山火山活動による報道で影響のあった平成26年12月調査を下回る大変厳しい状況となっている。